

# 令和元年度決算報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業活動による収支	収入	214,228,290
	支出	183,559,619
事業活動資金収支差額		30,668,671
施設整備等による収支	収入	0
	支出	20,331,690
施設整備等資金収支差額		△20,331,690
その他の活動による収支	収入	2,155,138
	支出	1,361,029
その他の活動資金収支差額		794,109
当期資金収支差額合計		11,131,090
前期未支払資金残高		193,861,316
当期末支払資金残高		204,992,406

サービス活動増減の部	収益	213,053,815
	費用	189,789,038
サービス活動増減差額		23,264,777
サービス活動外増減の部	収益	1,174,475
	費用	999,144
サービス活動外増減差額		175,331
経常増減差額		23,440,108
特別増減の部	収益	0
	費用	10
特別増減差額		△10
当期活動増減差額		23,440,098
次期繰越活動増減差額		287,292,399

資産の部	
流動資産	213,112,072
固定資産	299,333,663
基本財産	201,685,933
その他固定資産	97,647,730
資産の部合計	512,445,735

負債の部	
流動負債	17,416,770
固定負債	21,454,143
負債の部合計	38,870,913

純資産の部	
基本金	41,112,994
国庫補助金等特別積立金	107,169,429
その他の積立金	38,000,000
次期繰越活動増減差額	287,292,399
純資産の部合計	473,574,822

負債及び純資産の部合計 512,445,735

## 寄付お礼 (順不同) 令和元年12月～令和2年5月

- ふじ薬局備前店 様 ○ぼれぼれ家族会 様 ○和気町社会福祉協議会 様
- 藤原 敬子 様 ○重則美智男 様 ○本原 孝也 様
- 西村 茂 様 ○福原 雅子 様 ○小橋 弘正 様
- 白神 久栄 様 ○益本 隆雄 様 ○原 景子 様
- 梶谷 勝彦 様

お心遣いありがとうございました。



## 第三者委員会

皆様、満足度調査にお答え頂き、誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見をまとめて、第三者委員会の方々にご意見を頂きました。今すぐに改善できること、一年間を通して改善していくことなど、仕分けを行い、考察し、施設運営に活かしていきたいと思っております。この様な機会以外にかかわらず、皆様のご意見をお待ちしておりますので、気兼ねなく職員にお声をかけて頂けると幸いです。(生活支援員 徳田真治)

## 令和元年度苦情受付報告

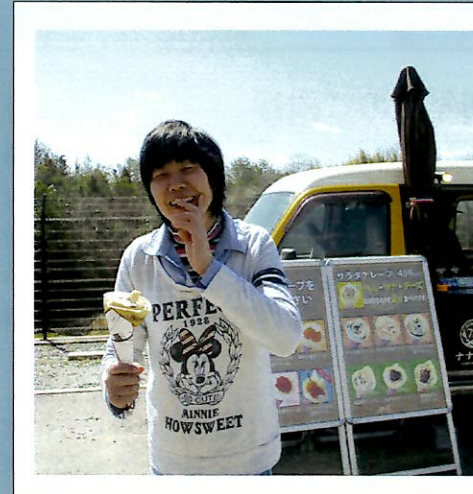
事業所	支援関係	個人の嗜好について	財産関係	その他	受付合計	解決	保留
和気本場	5	0	1	0	6	6	0
表町	0	0	0	0	0	0	0

## 行事予定

7月21日・22日	健康診断	12月19日	クリスマス会
8月10日	家族会作業日	1月15日	とんど
10月10日	焼肉会	2月	第三者委員会
10月・11月	施設旅行	2月23日	家族会作業日
11月	理事会	3月	理事会
12月	健康診断		

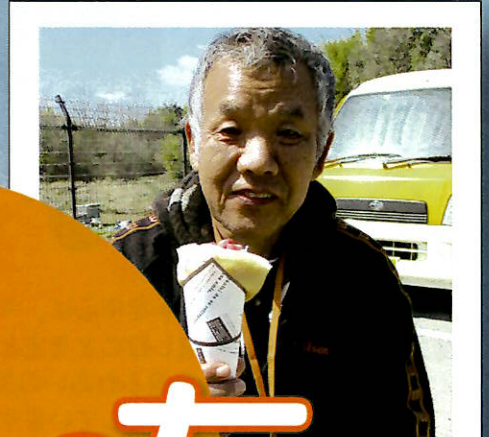
## 編集後記

新型コロナの影響を受け、普段の生活が送りにくい状況となっております。ただ、そのなかでも、可能な限り施設内での余暇やドライブ外出等の機会を提供しています。広報誌の作成にあたり、ご協力くださった皆様に、心より感謝申し上げます。(角原光貴)



## クレープ屋さん

3月20日、家族会のご厚意でぼれぼれ駐車場にクレープ屋さんやってきました！この日は朝から天気恵まれ、皆さん、好きなクレープを選び、春の陽気を感じながらいただきました。ご利用者様からは満面の笑顔で、「また食べたい！」「クレープ美味しかった！」など喜びの声が聞けました。家族会の皆様、ありがとうございました。(事務員 杉山光希)



# ぼれぼれの友

## 39

2020.07.01 発行



発行/社会福祉法人 恒和永千会 障害者支援施設ぼれぼれ  
〒709-0523 和気郡和気町小坂 1273-7  
TEL:0869-88-9777 FAX:0869-88-9778



## 「福祉避難所」の開設

管理者 山本雅司

令和2年2月5日に和気町役場において、町と恒和永千会、閉谷福祉会、藤の里が、「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、当法人の梶谷勝彦理事長が調印を行いました。この協定を締結したことにより、災害発生時に福祉避難所として利用することが可能となりました。

福祉避難所とは、一般の避難所では避難生活が困難な高齢者や障害者など、要配慮者が避難する施設です。

この度、町からの依頼を受け、当法人においても利用される方が安心して避難生活を送れるように準備を進めてまいりたいと思います。



## クラブ活動

音楽クラブでは、歌い手を中心に、マラカス、カホン、鈴、手拍子などで音を楽しむことを主とした活動をしています。12月に行われる東備ふれあいの集いでの発表に向けて、月に一回集まり、活動をしています。活動は、とても良い雰囲気の中でできていると感じています。クラブメンバーだけでなく、その場にいる全員が楽しく笑顔になれる活動を目指しています。(生活支援員 大原海音)



## 新年度のご挨拶

事務長 黒原千晶

令和2年度が始まって3か月が経とうとしています。新型コロナウイルスの影響で利用者の方も施設内で過ごされる時間が多く、改めて施設内の環境整備・環境美化の大切さを感じています。ばればれは18年目を迎え、昨年度に引き続き男性・女性居室6室、男性の浴室・脱衣場、2階・3階の空調設備など改修工事を行う予定です。利用者の方々とのかかわりを大切に、利用者一人ひとりが安全で快適な生活が送れるように努力して参ります。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

サービス管理責任者 土山英彦

令和の元号も2年目に入り、目に耳に馴染んできた感じがしています。当施設でも『高齢化』という言葉を使う機会が増え、身近なものになってきました。

年齢の変化は潮の満ち引きに似ています。生活の中で変わらないはずの日常が、気付けばもうここまで変わっているという現実の前に立つと、焦燥感や危機感を抱かずにはいられません。変わらないはずの日常から変化をいかに感知し、共有し、支援に取り込んでいくか。そして、ご利用者様の人生のビジョンをご家族様と一緒に創り上げていくプロセスが重要だと思います。

年度末よりご家族様にはご無理を申して参りました。これからも、ご利用者様を真ん中に、施設と家族が手を取り合い、話し合い、受け入れ合って、ワンチームとなって一つひとつ克服していきたいと思っています。

## 職員の抱負

入社して3年が経ちました。専門学生時代に障害について学んできましたが、支援をしていく中で障害についての知識があまりにも身につけていないと実感しています。2年間は、先輩方が利用者への支援をしている姿の見よう見まねで支援を行っていました。そのため、自分なりの支援をすることができていない部分がありました。

3年目の抱負としては再度、障害・支援の仕方を学び直し、知識を増やしていきたいです。そして、フリータイムの時間などに利用者の実態や趣向に合った遊びや作品作りを考えながら、自分なりの支援を実行していきたいと思っています。

(生活支援員 西山亭佳)



## 個別外出について

個別外出では、利用者みなさんの生活に楽しみが持てるような企画を考えております。外出先としてはスーパー、スターバックス、温泉等ご利用者様の実態や趣向に合わせて目的地を決めています。

ただ、3月より新型コロナウイルス感染症のため外出先が制限されました。そのような状況下でご利用者様が楽しんでいただけることを考えた結果、小グループでのドライブスルー外出を加えました。

これからも、少しでもご利用者様に楽しんでもらえるような個別外出を企画し、提供したいと思っています。

(生活支援員 原聖子)



## 退職職員

生活支援員 坪井 稔 (令和元年12月31日付)  
生活支援員 岸本 淳 (令和2年2月29日付)  
生活支援員 河原あい (令和2年3月31日付)  
お世話になりました。

## 栄 養 通 信

『暑さも寒さも彼岸まで』とよく云いますが、近年は地球温暖化の影響か、日本特有の四季の趣も少しずつ変化しているように感じます。しかしながら、やはり季節の変わり目は朝晩の寒暖差が激しく、気圧や気候の変化に身体がついていけず、体調を崩しやすくなることが多いです。そこでそのような中でも、抵抗力や免疫力を高め、健康に過ごしたいところです。例えば、根菜類や芋類、生姜など土の中で育ったものは身体を温める作用があり、体温を上げることで免疫機能を高めるといわれています。ヨーグルトなどに含まれる乳酸菌は、病原菌などに対する抵抗力や免疫力を高める作用があったり、腸内環境を整えたりすることで健康の保持に役立ちます。たくさんの食材の良いところを取り入れることができるように、日頃からバランスの良い食事を心がけましょう。(管理栄養士 吉崎郁子)

## 表町分場

新型コロナウイルス感染症の拡大で、余暇活動ドライブでは、レストランの食事や屋内施設の利用を控えています。そのかわり、お弁当を持って公園などに出かけて楽しんでいます。最近では津山の衆楽園で、桜舞う日本庭園の景色を満喫しました(写真)。お花見会も今年は敷物を敷かず、散策がてらのお花見となってしまいました。制約が多いですが、工夫して毎日を明るく過ごしています。(表町分場 中西久美子)



## 新任職員の紹介



野村 哲

1月31日付で採用になりました。まだまだ覚えることが多くありますが、皆さまと楽しく過ごして行けたらと思いますので、宜しくお願い致します。



仲西正之

2月6日付で採用になりました。前職は、設備の運営管理に携わっていました。障害者支援施設での仕事は、今回が初めてで戸惑う事ばかりですが私で出来ることを精一杯頑張ろうと思いますのでよろしくお願い致します。



角南 愛

4月13日付で採用になりました。久しぶりに施設に戻り、また皆さまと楽しく過ごしていけたらと思いますので、宜しくお願い致します。



浜野雄大

5月6日付で採用になりました。全く違う業種からの転職です。慣れない事ばかりで迷惑をかけてしまうかもしれませんが、精一杯、ご利用者様をサポートしていけたらと思います。



徳田玲加

5月6日付で採用になりました。施設での仕事は初めてなので分からないことが多いですが、先輩方のご指導の下、これから頑張っていきたいと思っています。

## 健康通信

今や、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡がり、日本でも感染者が増え続けています。感染の拡大を防ぐための自粛やスティホームが、あちこちで叫ばれています。ばればれでも、ご家族の同意を得て、帰宅、面会の中止、通院、余暇外出は必要最低限に留めています。又何よりも職員が『ウィルスを持ち込まない』ということを知り、日々の手洗い、施設内の換気、消毒にも力を入れています。先の見えない、不安で不自由な生活が続きますが、栄養と睡眠を充分取り、目に見えない敵(ウィルス)に打ち勝つ免疫力をつけ、この試練の時を乗り越えましょう。(看護師 久森正子)